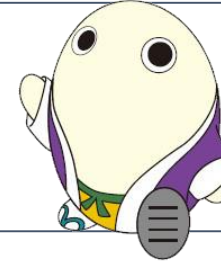


背景

- ・人口減少による地域の活力不足・地域創生の担い手不足
- ・住む場所や働く場所に対するニーズの多様化
- ・ICT・IoT技術の進化、普及による働き方の多様化



現状の課題

- ・新たな地域創生の担い手となる人材の移住先での「職」の確保(仕事づくり)
- ・外部からの新たな視点が流入するきっかけが少ない(交流の促進)
- ・京都府域が活動の場として選ばれるためのPR不足(来て見て知ってみて)



事業の目的

多様な人材を京都に呼び込む + 地域を元気に
(多様な人材が活躍できるダイバーシティを確保)

これまでの取組

- ・移住促進特別区域（移住者を呼び込む地域）を設定し、受入環境整備
- ・デジタル技術を生かしたサテライトオフィス等を各地に整備
- ・デジタル技術の活用促進により地方と都市部の繋がりを強化





事業内容

- ◆移住促進と地域の受入環境整備に加え、
テレワーク施設等の拠点を活用した他地域とのビジネスマッチング
- ◆副業人材、テレワーク人材といった関係人口の地域への呼び込み
- ◆移住者、関係人口が地域で活躍しやすいような環境構築



得られる成果等

成果・目標

移住者や関係人口の
夢や希望が叶う地域づくり

移住による
地域活性化の実現の両立



- **ダイバーシティ**が保たれる地域
- 移住者がやりたいことに取り組むことで元気な地域に

府内に移住促進特別区域数は100ヵ所以上あり、
様々な選択肢が存在

企業に求めるもの

- ◎企業研修、ワーケーション先や、サテライトオフィス等による地域との交流促進
- ◎その結果ファンになった地域での地域活動とまちづくりの両立
(企業版ふるさと納税を活用した支援)

企業のメリット

- ・新たなビジネス展開のきっかけ
- ・人材のスキルアップ、新たな交流による新展開
- ・SDGsの取組などのPR



新たなライフスタイル



テレワークやワーケーションを実践しながら、地域アクティビティにもチャレンジ!!



地域活動に参加することで、
地域の方と交流も深まる!!